



(Drug Information News)

NO. 420

2019年12月

徳山医師会病院 薬局

TEL: 0834-31-7716

FAX: 0834-32-5349

e-mail: yaku2@tokuyamaishikai.com

薬局ウェブサイト http://hospital.tokuyamaishikai.com/introduce_list/ より「薬局」をクリック

1. 術中虹彩緊張低下症候群 (IFIS) について

白内障の手術は、瞳孔（一般的に「黒目・茶目」と言われる部分＝虹彩の中心に開いた孔）を開いて行われます。しかし、この虹彩が開かない人や、あるいは開いても術中に閉じてくるような症例があり、「術中虹彩緊張低下症候群：IFIS」と呼ばれます。

●IFISの病態

①術中の洗浄液流による虹彩の弛緩と膨張（虹彩がふにゃふにゃになり、手術中の水流によってうねったり、バタバタ動いたりする）、②術中の進行性の縮瞳（手術の最中に瞳孔が小さくなる）、③虹彩が水晶体乳化術の切開部へ脱出する顕著な傾向の3症状の併発が特徴です。

ただし、日常生活ではそこまで瞳孔を開く必要が無いため、実質的な障害はほぼ無いとされています。

●IFISの発症原因

原因はαブロッカーの服薬です。αブロッカーは前立腺肥大症や高血圧などの薬として利用されており、それぞれ前立腺や血管にあるα受容体へ作用することでその効果を示しますが、実は虹彩の散大筋にもα受容体があり、そこをブロックされることで瞳孔が大きく開くことが阻害されるために生じます。

●原因となる薬物

上記の通り、αブロッカーが原因薬となります。

分類	成分名（後発品名）	先発品名
前立腺肥大症	タムスロシン塩酸塩	ハルナールD錠
	ナフトピジル	フリバス錠、OD錠
	シロドシン	ユリーフ錠、OD錠
	ウラピジル	エブランチルカプセル
高血圧症	ドキサゾシンメシル酸塩	カルデナリン錠、OD錠
	ブナゾシン塩酸塩	デタントール錠、R錠
	ラベタロール塩酸塩	トランデート錠
	プラゾシン塩酸塩	ミニプレス錠
統合失調症	パリペリドン	インヴェガ錠、ゼプリオン水懸濁注
	リスペリドン	リスパダールOD錠、錠、細粒、内用液、コンスタ筋注用
緑内障	ブナゾシン塩酸塩	デタントール点眼液

※ゴシック体が当院採用薬です。

●対応

白内障の手術を行うことが決定した場合、眼科医へαブロッカーを服用していることを伝えるようにしてください。事前の休薬は意味がない（休薬しても改善しない）とされています。

IFIS はαブロッカーを服用している人の 3～4 割程度で生じているというデータもあります。手術中に IFIS がみられた場合には適切な対策をとらないと時には合併症を招くことがあります。きちんと対策を行えばほぼ問題なく手術を終えることができます。

＜参考＞日本白内障屈折矯正手術学会 Web サイト

ドクターサロン 60 巻 5 月号

東京医科大学病院 薬剤部 「お薬のしおり」 No. 173

2. 薬事委員会結果報告

11月開催分

●常備中止医薬品 ※在庫数は 11 月末時点の数です。

	品 名	在庫数	薬 効	理 由	同種同効薬
内服薬	ツムラ 5 安中散エキス顆粒	0	漢方製剤	使用が少ないため	
	ツムラ 12 柴胡加竜骨牡蛎湯エキス顆粒	0		期限切れ	
	ツムラ 35 四逆散エキス顆粒	0		期限切れ	
	ツムラ 73 柴陷湯エキス顆粒	0		使用が少ないため	
	ラニチジン錠 150mg	0	H2 受容体拮抗剤	発がん性物質混入による製品回収のため	ファモチジン OD 錠 10, 20 プロテカジン OD 錠 10
	ジスロマック SR 成人用 ドライシロップ 2 g	1 本	マクロライド系抗生物質	製造中止のため (経過措置:2021 年 3 月)	アジスロマイシン錠 250mg
	バルコーゼ顆粒 75%	50g	便秘治療剤	製造中止のため (経過措置:2021 年 3 月)	
	プロタノール S 錠 15mg	0	心機能・組織循環促進剤	期限切れ	
	MS コンチン錠 30mg	91 錠	持続性癌疼痛治療剤	使用が少ないため	MS コンチン錠 10mg
	インターール点眼液 2%	3 本		製造中止のため (経過措置:2021 年 3 月)	
外用薬	インターール点鼻液 2%	8 本		製造中止のため (経過措置:2021 年 3 月)	
	プロクトセディル軟膏	52 本	痔疾治療剤	使用が少ないため	強力ポステリザン(軟膏) ネリプロクト軟膏
	プロトピック軟膏 0.1%	10 本	アトピー性皮膚炎治療剤	使用が少ないため	

●規格の追加

	品 名	薬価	薬 効	同種同効薬
注射薬	ガドピスト静注 1.0mol/L シリンジ 7.5mL	7,287/筒	環状型非イオン性MR I 用造影剤	ガドピスト静注 1.0mol/L シリンジ 5mL

●先発品から後発品への切り替え予定医薬品

	品 名（後発品）	薬価	薬効	同一成分薬品（先発品）	薬価
内服薬	ドキサゾシン錠 2mg	10.50	血圧降下剤	カルデナリン錠 2mg	39.50

●製造中止による切り替え予定医薬品

	品 名（変更品）	薬価	薬効	同一成分薬品（現採用品）	薬価
内服薬	ニフェジピンカプセル 5mg	5.70	高血圧・狭心症治療剤(Ca拮抗剤)	アダラートカプセル 5mg (経過措置:2021年3月)	12.60

3. Q & A コーナー

11月分

★リンデロン錠→プレドニン注への対応量は？

リンデロン、プレドニン共に内服量＝注射量。
よって、リンデロン 0.5mg＝プレドニン 5mg で良い。

★透析患者へのレボドパ製剤の使用法は？

腎機能別の投与量の目安として確立したものは無い。
市販の書籍（透析時の投与量ガイドブック、腎機能別薬剤投与量ポケットブックなど）によると
腎機能低下例（透析も含む）であっても投与量の変更は不要となっているので通常量で良い。

★レボドパ製剤の透析除去率は？

40%以上、となっているが、具体的な数値は不明。

★レボドパの代謝物は生体への影響があるか？

無い。

★インクレミンシロップ 10mL はフェロミア何錠に相当するか？

インクレミンの鉄含有量は 6mg/mL。フェロミア（クエン酸第一鉄）錠の鉄含有量は 50mg/錠。
よって、インクレミンシロップ 10mL＝フェロミア（クエン酸第一鉄）1.2 錠となる。

★胆汁酸が関与している下剤は？ウルソを服用している場合、どうなるのか？

グーフィス錠。胆汁酸の再吸収が阻害されるため、ウルソの作用が減弱する可能性がある。

★エクフィナ錠を使用する場合、他のMAO阻害剤は休薬が必要か？

2 週間の休薬が必要となる。

4. 新規収載医薬品

2019年11月19日

●内用薬

エクフィナ錠 50mg

製造・販売	Meiji Seika ファルマ
分類	抗パーキンソン剤
一般名	サフィナミドメシル酸塩
薬価	963.90 円
効能・効果	レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるwearing off 現象の改善
用法・用量	本剤は、レボドパ含有製剤と併用する。通常、成人にはサフィナミドとして50mgを1日1回経口投与する。なお、症状に応じて100mgを1日1回経口投与できる。

トリンデルックス錠 10mg、20mg

製造・販売	武田薬品工業
分類	精神神経用剤
一般名	ボルチオキセチン臭化水素酸塩
薬価	10mg：168.90 円 20mg：253.40 円
効能・効果	うつ病・うつ状態
用法・用量	通常、成人にはボルチオキセチンとして10mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により1日20mgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて行うこと。

コララン錠 2.5mg、5mg、7.5mg

製造・販売	小野薬品工業
分類	その他の循環岐用薬
一般名	イバブラジン塩酸塩
薬価	2.5mg：82.90 円 5mg：145.40 円 7.5mg：201.90 円
効能・効果	洞調律かつ投与開始時の安静時心拍数が75回/分以上の慢性心不全。ただし、 β 遮断薬を含む慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る。
用法・用量	通常、成人にはイバブラジンとして、1回2.5mgを1日2回食後経口投与から開始する。開始後は忍容性をみながら、目標とする安静時心拍数が維持できるように、必要に応じ、2週間以上の間隔で段階的に用量を増減する。1回投与量は2.5、5又は7.5mgのいずれかとし、いずれの投与量においても、1日2回食後経口投与とする。なお、患者の状態により適宜減量する。

エベレンゾ錠 20mg、50mg、100mg

製造・販売	アステラス製薬
分類	他に分類されない代謝性医薬品
一般名	ロキサデュスタット
薬価	20mg：387.40 円 50mg：819.20 円 100mg：1,443.50 円
効能・効果	透析施行中の腎性貧血
用法・用量	●赤血球造血刺激因子製剤で未治療の場合 通常、成人には、ロキサデュスタットとして1回50mgを開始用量とし、週3回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1回3.0mg/kgを超えないこととする。 ●赤血球造血刺激因子製剤から切り替える場合 通常、成人には、ロキサデュスタットとして1回70mg又は100mgを開始用量とし、週3回

	経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1回3.0mg/kgを超えないこととする。
--	--

ベネクレクタ錠 10mg、50mg、100mg

製造・販売	アッヴィ
分類	その他の腫瘍用薬
一般名	ベネトクラクス
薬価	10mg：874.60 円 50mg：3,964.50 円 100mg：7,601.10 円
効能・効果	再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）
用法・用量	通常、成人にはベネトクラクスとして、用量漸増期は第1週目に20mg、第2週目に50mg、第3週目に100mg、第4週目に200mg、第5週目に400mgをそれぞれ1日1回、7日間食後に経口投与する。その後の維持投与期は、400mgを1日1回、食後に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

ラスビック錠 75mg

製造・販売	杏林製薬
分類	合成抗菌剤
一般名	ラスクフロキサシン塩酸塩
薬価	361.40 円
効能・効果	<適応菌種> 本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、プレボテラ属、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ） <適応症> 咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎
用法・用量	通常、成人には、ラスクフロキサシンとして1回75mgを1日1回経口投与する。

●注射薬

フィアス注 フレックスタッチ、ペンフィル、100 単位/mL

製造・販売	ノボ ノルディスクファーマ
分類	その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）
一般名	インスリンアスパルト（遺伝子組み換え）
薬価	フレックスタッチ：1,918 円 ペンフィル：1,338 円 バイアル：334 円
効能・効果	インスリン療法が適応となる糖尿病
用法・用量	●フレックスタッチ・ペンフィル 本剤は持続型インスリン製剤と併用する超速攻型インスリンアナログ製剤である。通常、成人では、初期は1回2～20単位を毎食事開始時に皮下投与するが、必要な場合は食事開始後の投与とすることもできる。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は通常1日4～100単位である。通常、小児では、毎食事開始時に皮下投与するが、必要な場合は食事開始後の投与とすることもできる。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は通常1日0.5～1.5単位/kgである。 ●バイアル 通常、成人では、初期は1回2～20単位を毎食事開始時に皮下投与するが、必要な場合は食事開始後の投与とすることもできる。また、持続型インスリン製剤と併用することがある。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は通常1日4～100単位である。通常、小児では、食事開始時に皮下投与するが、必要な場合は食事開始後の投与とすることもできる。また、持続

	型インスリン製剤と併用することがある。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は通常1日0.5～1.5単位/kgである。必要に応じポータブルインスリン用輸液ポンプを用いて投与する。また、必要に応じ静脈内注射を行う。
フリニューラ脳室内注射液 150mg	
製造・販売	Bio Marin Pharmaceutical Japan
分類	酵素製剤
一般名	セルリポナーゼ アルファ（遺伝子組み換え）
薬価	1,327,645 円
効能・効果	セロイドリポフスチン症2型
用法・用量	通常、セルリポナーゼ アルファ（遺伝子組み換え）として、300mgを2週間に1回、脳室内投与する。なお、患者の状態、年齢に応じて適宜減量する。
クリスピータ皮下注 10mg、20mg、30mg	
製造・販売	協和キリン
分類	他に分類されない代謝性医薬品
一般名	ブロスマブ（遺伝子組み換え）
薬価	10mg：304,818 円 20mg：608,282 円 30mg：911,812 円
効能・効果	FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症
用法・用量	<FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症（腫瘍性骨軟化症を除く）> 通常、成人には、ブロスマブ（遺伝子組み換え）として4週に1回1mg/kgを皮下投与する。ただし、1回投与量は90mgを超えないこと。血清リン濃度、症状等に応じて適宜減量する。通常、小児には、ブロスマブ（遺伝子組み換え）として2週に1回0.8mg/kgを皮下投与する。血清リン濃度、症状等に応じて適宜減量するが、最高用量は1回2mg/kgとする。ただし、1回投与量は90mgを超えないこと。 <腫瘍性骨軟化症> 通常、成人には、ブロスマブ（遺伝子組み換え）として4週に1回0.3mg/kgを皮下投与する。血清リン濃度、症状等に応じて適宜増減するが、最高用量は1回2mg/kgとする。
ポートラーザ点滴静注液 800mg	
製造・販売	日本化薬
分類	その他の腫瘍用薬
一般名	ネシツムマブ（遺伝子組み換え）
薬価	238,706 円
効能・効果	切除不能な進行・再発の扁平上皮非小細胞肺癌
用法・用量	ゲムシタビン及びシスプラチンとの併用において、通常、成人にはネシツムマブ（遺伝子組み換え）として1回800mgをおよそ60分かけて点滴静注し、週1回投与を2週連続し、3週目は休薬する。これを1コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
イスパロクト静注用 500、1000、1500、2000、3000	
製造・販売	ノボ ノルディスクファーマ
分類	血液製剤類
一般名	ツロクトコグ アルファペゴル（遺伝子組み換え）
薬価	500 国際単位：67,436 円 1000 国際単位：124,632 円 1500 国際単位：178,510 円 2000 国際単位：230,339 円 3000 国際単位：329,913 円
効能・効果	血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者における出血傾向の抑制
用法・用量	本剤を添付の専用溶解液全量で溶解し、1～2mL/分で緩徐に静脈内注射する。

	通常、1回体重1kg当たり10～30国際単位を投与するが、患者の状態に応じて適宜増減する。 定期的に投与する場合、12歳以上の患者には、通常、1回体重1kg当たり50国際単位を4日毎に投与する。なお、患者の状態に応じて、1回体重1kg当たり50国際単位を週2回、又は1回体重1kg当たり75国際単位を週1回投与することもできる。 12歳未満の小児には、通常、1回体重1kg当たり60国際単位を週2回投与する。なお、患者の状態に応じて、1回体重1kg当たり50～75国際単位を週2回又は3回毎に投与することもできる。
--	--

●外用薬

ハルロピテーフ 8mg、16mg、24mg、32mg、40mg

製造・販売	久光製薬
分類	抗パーキンソン剤
一般名	ロピニロール塩酸塩
薬価	8mg：404.90 円 16mg： 623.00 円 24mg：801.50 円 32mg：958.40 円 40mg：1,101.00 円
効能・効果	パーキンソン病
用法・用量	通常、成人にはロピニロール塩酸塩として1日1回8mgから始め、以後経過を観察しながら、必要に応じて1週間以上の間隔で、1日量として8mgずつ増量する。いずれの投与量の場合も1日1回、胸部、腹部、側腹部、大腿部又は上腕部のいずれかの皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。なお、年齢、症状により適宜増減するが、ロピニロール塩酸塩として1日量64mgを超えないこととする。

アイベータ配合点眼液

製造・販売	千寿製薬
分類	眼科用剤
一般名	ブリモニジン酒石酸塩/チモロールマレイン酸塩
薬価	456.00 円
効能・効果	次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合：緑内障、高眼圧症
用法・用量	1回1滴、1日2回点眼する。

リティンパ耳科用 250μg セット

製造・販売	ノーベルファーマ
分類	耳鼻科用剤
一般名	トラフェルミン（遺伝子組み換え）
薬価	32,691.30 円
効能・効果	鼓膜穿孔
用法・用量	鼓膜用ゼラチンスポンジに100μg/mLトラフェルミン（遺伝子組み換え）溶液全量を浸潤させて成形し、鼓膜穿孔縁の新鮮創化後、鼓膜穿孔部を隙間なく塞ぐように留置する。

5. 添付文書の改訂

※添付文書記載内容の改定に伴う改訂に関しては省略致します。

○アジレクト錠（武田製薬）の【禁忌】に追記がありました。（下線部_____追記箇所）

【禁忌】

- （１）ほかのMAO阻害薬（セレギリン塩酸塩及びサフィナミドメシル酸塩）を投与中の患者
- （２）変更なし 省略
- （３）三環系抗うつ薬（アミトリプチリン塩酸塩、…(省略)…パロキセチン塩酸塩水和物、セルトラリン塩酸塩及びエスシタロプラムシュウ酸塩）、セロトニン再取り込み阻害・セロトニン受容体調節薬（ボルチオキセチン臭化水素酸塩）、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬…(以下省略)

○デプロメール錠（Meiji Seika ファルマ）の【禁忌】に追記がありました。

（下線部_____追記箇所）

【禁忌】

- １．３．変更なし 省略
- ２．モノアミン酸化酵素（MAO）阻害剤（セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩、サフィナミドメシル酸塩）を投与中あるいは投与中止後２週間以内の患者[10.1 参照]

○ピタバスタチンカルシウムOD錠（興和創薬）の【用法・用量】及び効能効果と用法・用量に関連する使用上の注意に変更・追記がありました。（下線部_____追記箇所、削除線部——削除箇所）

【用法・用量】

高コレステロール血症

通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして…（省略）

家族性高コレステロール血症

成人：通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして…（省略）

小児：通常、10歳以下の小児にはピタバスタチンカルシウムとして1mgを1日1回経口投与する。なお、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日2mgまでとする。

<参考>

成人

	錠・OD錠 1mg	錠・OD錠 2mg	錠・OD錠 4mg
<u>高コレステロール血症</u>	○	○	○
<u>家族性高コレステロール血症</u>	○	○	○

小児

	錠・OD錠 1mg	錠・OD錠 2mg	錠・OD錠 4mg
<u>高コレステロール血症</u>	＝	＝	＝
<u>家族性高コレステロール血症</u>	○	○	＝

○：承認用法・用量あり ＝：承認なし

【効能・効果に関連する使用上の注意】

1. 2. 変更なし 省略
3. 小児に投与する場合は、小児の家族性高コレステロール血症の治療に十分な知識及び経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される患者についてのみ適用を考慮すること。（「小児等への投与」の項参照）
4. 女性では冠動脈疾患の発症は男性と比べて遅いと報告されていることも踏まえ、女兒に対する本剤投与の要否については、リスク・ベネフィットを考慮し特に慎重に判断すること。（「副作用」「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照）なお、国内臨床試験において女兒に対する使用経験はない。

【用法・用量に関連する使用上の注意】

1. 肝障害のある患者成人に投与する場合には、投与開始量を1日1mgとし、最大投与量は1日2mgまでとする。また、肝障害のある小児に投与する場合には、1日1mgを投与する。（「慎重投与」「薬物動態」の項参照）
2. …（省略）…成人海外臨床試験において…（省略）…]

○ボノサップパック（武田薬品）の【禁忌】に削除・追記がありました。

（下線部_____追記、削除線部———削除箇所）

【禁忌】

- （1）変更なし 省略
- （2）アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩、ピモジド、エルゴタミン含有誠治 administrator、スボレキサント、トミタピドメシル酸塩、タダラフィル[アドシルカ]、チカグレロル、イウルチニブ、アスナプレビル、パニプレビルイバブラジン塩酸塩、ベネトクラクス（用量漸増期）を投与中の患者（「相互作用」の項参照）

○ラシックス錠、ラシックス注（サノフィ）の【禁忌】に追記がありました。

（下線部_____追記箇所）

【禁忌】

1. ～4. 変更なし 省略
5. デスモプレシン酢酸塩水和物（男性における夜間多尿による夜間頻尿）を投与中の患者 [「3. 相互作用」の項参照]

○リピディル錠（あすか製薬）の【禁忌】に削除・追記がありました。

（下線部_____追記、削除線部———削除箇所）

【禁忌】

1. 2. 4. 5. 変更なし 省略
3. 中等度以上の腎機能障害のある患者（目安として血清クレアチニン値が2.5mg/dL以上）—血清クレアチニン値が2.5mg/dL以上又はクレアチニンクリアランスが40mL/min未満の腎機能障害のある患者 [横紋筋融解症があらわれることがある。]

○リフレックス錠 (Meiji Seika ファルマ) の【禁忌】に追記がありました。

(下線部_____追記箇所)

【禁忌】

1. 変更なし 省略
2. MAO阻害剤 (セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩、サフィナミドメシル酸塩) を投与中あるいは投与中止後 2 週間以内の患者[10. 1、11. 1. 1 参照]

6. 医療安全情報

日本機能評価機構

日本機能評価機構 医療安全情報 No. 156 「鎮静に使用する注射薬の誤投与」が掲載されました。
詳しい内容はオーダーリング内の「医療安全情報」又は日本医療機能評価機構ウェブサイト (<http://www.med-safe.jp/>) を参照してください。